

# HB通信

編集・発行 /  
一般社団法人  
ひょうご部落解放・人権研究所



〒650-0003 神戸市中央区山本通4-22-25 兵庫人権会館2階  
TEL: 078-252-8280 FAX: 078-252-8281  
e-mail: blrhg@extra.ocn.ne.jp URL: http://blrhg.org/

## 第58回定時社員総会を開催しました



2024年6月2日、一般社団法人ひょうご部落解放・人権研究所第58回定時社員総会を神戸市教育会館にて開催いたしました。次の6つの議案が提起され、承認されました。

- ① 2023年度の事業報告、② 2023年度収支決算報告、③ 2023年度監査報告、④ 2024年度事業計画(案)、⑤ 2024年度収支予算(案)、⑥ 定款の改正。

えほんの紹介



### 『あがりめ さがりめ』

—おかあさんと子どものあそびうた—

(ましませつこ絵、こぐま社、1994年2月) 1,320円(税込)



「ずいずいずっころばし、ごまみそずいっ」「げんこつやまのた〜ぬきさん」など懐かしい手あそびうたが満載です。うたの雰囲気に合わせて素朴な絵がとってもかわいいです。副題の「おかあさんと」というところはツッコみたくなりますが、抱っこしたりくすぐったりと触れ合えるので大人も子どもも楽しめる絵本です。

長女ちゃんのお気に入り指数



我が家の絵本タイムは就寝前ですが、この絵本を読むと「もう一回！」と何回もやられるので、全然寝ません(笑)。「あ〜がりめ、さ〜がりめ」と目をつりあげたり、「だるまさん、だるまさん、にらめっこしましょ」で変な顔をして大爆笑。「いっぽんばし〜こ〜ちょこちょ」でお腹をくすぐるとケタケタと喜びます。

四歳になり、YouTubeにハマったり、ネイルやお化粧をしたりと、おませさんですが、こんな素朴な手あそびうたが大好きなところがかわいいな♡と思う今日この頃です。(ひ)

誰ひとり取り残さない社会をめざして

# ひょうご人権総合講座

ひょうご部落解放・人権研究所では、2024年度もひょうご人権総合講座を開催いたします。この講座は、部落問題をはじめとするさまざまな人権課題について学び、人権社会確立に資するリーダー養成を目的としています。2023年度は、行政や企業、労働組合、宗教界の方々に多数ご参加いただきました。今年度は全13日、26講座（フィールドワークを含む）で、1講座から受講していただけますので、ぜひご参加ください。くわしくはホームページをご覧ください。



- 申込締切：2024年7月31日（水） ■場所：兵庫県立のじぎく会館他
- 定員：40人 ※フィールドワークのみ25人（全講座参加団体・個人を優先します）
- 受講料：1講座4,000円／全講座お申込みの場合98,000円（6,000円お得！）

※いずれも税込

## ■プログラム

回	日程	1時限目 (10:00～12:30)	2時限目 (13:30～16:00)
1	8/22（木）	人権総論【李嘉永】	病気と差別（HIV）【岡本学】
2	8/29（木）	部落問題①（総論）【内田龍史】	部落問題②（歴史）【宮前千雅子】
3	9/5（木）	部落問題③（現状）【北川真児】	部落問題④（行政・啓発） 【柴原浩嗣】
4	9/19（木）	在日外国人①（制度）【韓検治】	在日外国人②（労働）【斉藤善久】
5	9/26（木）	在日外国人③（在日コリアン） 【郭辰雄】	在日外国人④（教育）【山本晃輔】
6	10/3（木）	子ども①（子どもの権利条約） 【曾我智史】	子ども②（虐待・ヤングケアラー） 【北野真由美】
7	10/17（木）	啓発・広報（ワークショップ） 【神崎英徳】	障害者①（総論）【尾上浩二】
8	10/24（木）	障害者②（自立生活の現状と歴史） 【玉木幸則】	障害者③（精神障害）【高橋亮也】
9	11/7（木）	ジェンダー①（総論）【守如子】	ジェンダー②（性的マイノリティ） 【田中一步、近藤孝子】
10	11/14（木）	ジェンダー③（性暴力） 【福岡ともみ】	犯罪被害者支援【大岡由佳】
11	11/28（木）	マイクロアグレッション 【栗本敦子】	貧困【髯本郁】
12	12/5（木）	ワークショップ【平田オリザ】	対人援助（ワークショップ） 【西谷清美】
13	12/12（木）	人権のまちづくり（災害） 【津久井進】	フィールドワーク （神戸市内の被差別部落）

# 人権教育実践講座

## はじめてみよう！これからの部落問題学習

2016年12月に施行された「部落差別解消推進法」では、第5条に「国は、部落差別を解消するため、必要な教育及び啓発を行うものとする」と明記されましたが、学校で部落問題をあまり学ぶことがなかった若い世代の教員から、「間違ったことを教えてしまわないか不安」という声も多く聞かれます。

このような状況のもと、ひとりでも多くの教員が部落問題学習に取り組めるように、部落問題を体系的に学び、教育実践に活用することができる連続講座を開催します。

申込方法などの詳細はホームページをご覧ください。

■日程：2024年8月6日（火）／8月7日（水）／8月20日（火）（全9コマ）

■会場：兵庫県立のじぎく会館他

■申込締切：2024年7月31日（水）

■定員：会場30人／オンライン100人 ※オンライン受講に対応していない講座があります。

■参加資料代：1コマ2,200円／全9コマお申し込みの場合18,000円（1,800円お得！）

※いずれも税込み

※2024年7月31日（水）までにキャンセルを承った場合は、全額返金いたします。

### ■プログラム

日にち	時間割	時間	講義内容	講師
8/6（火）	1	10:00～11:45	部落問題 何を教えるか ★	内田龍史
	2	12:45～14:30	部落差別のいま ★	北川真児
	3	14:45～16:30	兵庫五国 —さまざまな部落のありようを知ろう ★	細田勉ほか
8/7（水）	1	10:00～11:45	部落史は変わった！ 部落史のその「常識」、大丈夫？ ★	宮前千雅子
	2・3	12:45～16:30	ワークショップ① アクティブラーニング —動き、気づき、さらなる学びへ ※	井上浩義ほか
8/20（火）	1	10:00～11:45	ワークショップ② 授業づくりワークショップ	坂本研二
	2・3	13:30～16:30	フィールドワーク 神戸市の被差別部落 ※	主に地元の方々

★…オンライン受講が可能です

※…2コマの設定です

## (一社) ひょうご部落解放・人権研究所 2024年度人権セミナー 《第1回》トランスジェンダー差別を考える



大阪の西天満で「うるわ総合法律事務所」を開業し、幅広い法律分野に対応する。とりわけ離婚やセクハラなどの問題や、LGBTなどをはじめ、ジェンダー、セクシュアリティに関する相談も多い。

ここ数年、特にインターネット上で、トランスジェンダー、とりわけトランスジェンダー女性に対して、ひどいバッシング、ヘイトが起きています。「女性と名乗れば誰でも女性になれる」「女性を自称すれば誰でも女性用トイレや風呂に入れるようになり、性犯罪が増える」といった言説がその典型ですが、これらはデマであり、誤解と偏見に基づく差別に他なりません。昨年成立したLGBT理解増進法の成立過程でもSNSを中心に、こうした事実誤認と偏見に基づくデマ言説が広げられました。一方で、トランスジェンダーの人たちの現実、そして、生活する中でどのような困難や差別があるのか、といったことは、ほとんど知られていません。当事者の実情を知ることなく、偏見に基づく勝手な議論がなされ、差別・ヘイト言説が拡大しているのです。

セミナーでは、トランスジェンダー差別の実態を知り、差別をなくしていくために私たちにできることを考えます。

※トランスジェンダーとは、出生時に割り当てられた性と性自認(性同一性)が一致していない人を指します。

■講師：仲岡しゅんさん(弁護士/大阪弁護士会)

■日時：2024年7月13日(土) 14:00～16:00(13:30受付開始)

■参加資料代：一般：1000円

正会員(個人会員)：無料

定期購読(個人)・学生・賛助会員：500円

※特別会員の方は無料クーポンをご利用ください。

■場所：兵庫県立のじぎく会館 201号室 ※オンライン配信はありません。  
神戸市中央区山本通 4-22-15

■定員：60人

■参加申込方法：右記申込みフォーム、電話、メールなど



### 事務局から

- 6月。夜になると窓の外にホッと明かりがいたり消えたり。そう、蛍が飛ぶ季節になっていました。疲れた体と心をひと時和ませてくれています。(Ho)
- このコーナー、何を書か、結構迷います。とりあえず5本書いたところ、どれもひどい愚痴になってしまい、皆さんにお見せすることができません。誠に遺憾ですが、そんな状況です。(ka)
- 3月12日に研究所のHPに掲載した、昨年の総合講座の講師依頼取り消しに関する「経緯と見解」には、予想を超える多くの方々から賛意や励ましの言葉をいただいています。有難いことです。学びながら、つながっていきたいと思います。(H)
- 5月から復帰しました。浦島太郎の気分ですが、脳みそをアップデートして滞った仕事をこなし、微力ながらみんなの役に立ちたいと思う所存です。(ひ)

